





人工股関節置換術(THA)パス 入院診療計画書

OSY105

患者ID	主治医	病名	説明日
患者氏名	担当医	管理栄養士	症状 <input type="checkbox"/> 事前検査による異常所見
生年月日:	看護師	特別な栄養管理の必要性	<input type="checkbox"/> 患部の自覚症状
病棟(病室)	薬剤師	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(疼痛 歩行困難)

月日	入院日・前日	手術前
患者目標	不安なく手術を受けることができる	
治療処置 注射 (内服)	現在使用している薬をすべて確認します(現在中止している薬も含む) 入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無等を確認します 	朝の薬は 時 分 に()を 少量の水で内服します 9時頃に点滴をします (9時30分手術予定の場合は手術室で点滴をします)
検査	必要に応じて行います	
食事	常食(必要に応じて治療食)です 手術前日21時以降は食事を摂取することができません 水分(水・お茶のみ)は決められた時間と量で摂取することができます	食事・水分を摂取することができません 
排泄	制限はありません 	
清潔	シャワー浴ができます (必要な場合はお手伝いをします)	タオルで体を拭くことができます (必要な場合はお手伝いをします)
活動 (安静度)	制限はありませんが、病棟を離れる際は、 スタッフに声をかけてください	病棟内でお過ごしください 手術室へ歩いて移動します(状態によっては車椅子やベッドで移動します)
説明 (指導)	入院生活や手術について説明します 義歯・補聴器があるかを確認します ネームバンドを装着します 手術室看護師の訪問があります 麻酔科医師より麻酔について説明があります(全身麻酔の場合) 	手術開始予定時刻は 時 分です 手術着に着替え、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を着用します 装身具(眼鏡・時計・義歯・指輪等)を外します ご家族の方は病棟の食堂にてお待ちください (離れる時はスタッフに声をかけてください)
その他		

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し、対応させていただきます。

上記のとおり説明を受けました 年 月 日

※上記の内容は、状態によって変更する場合があります。変更の際はその都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

説明を受けた人: 続柄



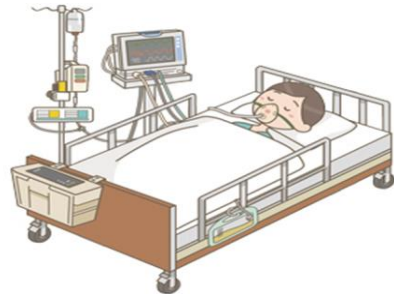
注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

(本人・家族) ()

整形外科パス:

患者氏名

患者ID

月日	術後	術後1日目～2日目
患者目標	手術後合併症を起こさない	
治療 処置 注射 (内服)	自動血圧計、心電図モニターを装着します 酸素を開始し、足にはフットポンプを装着します (装着時間は状態によって変わります) 痛み止めの薬が処方されます 	必要時、手術部位の処置をします ※手術部位の状態をみて保護材を貼ります(約2週間程度貼った状態です) 翌日まで点滴をします (状態によって変更があります) 処方された痛み止めを内服します(途中で痛み止めの種類が変更となります)
検査	血液検査をします 	術後1日目に血液検査とレントゲン撮影をします
食事	手術4時間後に、お腹の動きが確認できたら、食事・飲水が可能となります(その際はお知らせします)	常食(必要に応じて治療食)です
排泄	尿の管が入っています 排便はベッド上で便器を使用します	状態により尿の管を抜きます 排便は、安静解除後からトイレでできます
清潔	翌朝まで手術着のままを観察していきます	安静解除後に手術着から病衣に着替えます(看護師がお手伝いをします) 保護材貼付後からシャワー浴ができます(必要な場合はお手伝いをします)
活動 (安静度)	翌朝まではベッド上で安静となります	手術翌日に医師の指示で安静解除となります リハビリ介入時に離床します (リハビリがない場合は医師と共に看護師が離床の介助をします)
説明 (指導)	痛みが強い時や、気持ちが悪い時 など、異常を感じた時は、すぐにお 知らせください 	手術後の経過は人によって違いがあります 不安や疑問がある場合は主治医・看護師・薬剤師・理学療法士へ 気軽にお尋ねください 尿の管を抜いた後は、排尿時の痛みや残尿感がありますが 徐々に落ち着いてきます(状態に応じて必要な対応をします)
その他		

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し、対応させていただきます。

※上記の内容は、状態によって変更する場合があります。変更の際はその都度お伝えします。




注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

整形外科パス:

患者氏名

患者ID

月日	術後3日目	術後7日目	術後14日目	術後21日目	退院日
患者目標	痛みをコントロールしながら動くことができる		問題なくリハビリを行うことができる		
治療 処置 注射 (内服)	必要時、手術部位の処置をします 処方された痛み止めを内服します				退院時に処方がある場合は、薬剤師からお渡しします(不在の場合には看護師からお渡しする場合もあります)
検査	血液検査をします	血液検査をします レントゲン撮影をします	血液検査とレントゲン撮影をします		ネームバンドを外します 体温計を回収します
食事	常食(必要に応じて治療食)です				退院後の過ごし方、次回外来について説明をします 次回の外来予約票と診察券をお渡しします
排泄	状態により尿の管を抜きます 尿の管が抜けたら排尿もトイレを使用します				会計担当者が、お部屋へ伺います(開院日) 会計の説明を聞いてからの退院となります
清潔	タオルで体を拭くことができます(必要な場合はお手伝いをします) 保護材貼付後からシャワー浴ができます				(状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます)
活動 (安静度)	医師の指示で弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を脱ぎます ※状態によっては日数の変動があります				
説明 (指導)	手術後の経過は人によって違いがあります 不安や疑問がある場合は主治医・看護師・薬剤師・理学療法士へ気軽にお尋ねください 尿の管を抜いた後は、排尿時の痛みや残尿感がありますが徐々に落ち着いてきます (状態に応じて必要な対応をします)				
その他					

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し、対応させていただきます。

※上記の内容は、状態によって変更する場合があります。変更の際はその都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

整形外科パス: